

# 令和4年度長崎市地域包括支援センター活動報告

長崎市の  
統計

	令和5年3月末	(R4年3月末)
65歳人口	135,156人	(135,204人)
高齢化率	34.0%	(33.5%)
要支援認定者	6,972人	(7,272人)
認定者数計	27,964人	(28,360人)
認定率	20.7%	(21.0%)



## 地域包括支援センターがこの1年特に力を入れた活動一覧

各地域包括支援センター活動報告の紙面左スペースでは最も力をいれた取り組みを掲載しています。内容の詳細は、各包括の活動報告をご覧ください。

長崎市包括的支援事業実施方針の重点項目

- 1 介護予防の推進
- 2 認知症に関する取り組みの充実
- 3 地域ケア会議を活かした活動の展開
- 4 権利擁護事業の推進

実施方針の項目	包括名	令和4年度活動紹介「力を入れた活動」のテーマ
介護予防の推進	日見・橘	日見・橘地区 高齢者ふれあいサロン・自主グループ交流会を開催しました！
	桜馬場	生活支援コーディネーターとの地域の集いの場づくり
	片淵・長崎	アフターコロナに向けたフレイル予防
	江平・山里	地域を巻き込んだフレイル予防の取り組み ～山里地区介護予防教室の深化～
	西浦上・三川	コロナ禍での地域活動状況
	西部	第1回 西部地区地域ケア推進会議 ～健康づくり推進員交流会～を開催しました
	滑石・横尾	介護予防・フレイル予防を目的に5月、12月に滑石・横尾ウォーキングを開催しました
	琴海	～さんかいよかとこウォーキング～
	小島・茂木	地域での支え合いとネットワークから「安全なひとり歩き」のまちを目指して
	南部	感染予防対策を講じながら対面でのイベントを再開しました！ 「介護予防の推進」「認知症SOS声かけ模擬訓練」
認知症に関する取り組みの充実	東長崎	認知症を発症しても安心できる東長崎を目指して
	緑が丘	認知症になっても希望のある生活を送るために
地域ケア会議を活かした活動の展開	大浦	コロナ禍における地域活動再開への取り組み
	小江原・式見	歳をとっても、もの忘れをしても、この町で暮らし続けるために 誰もが安心して暮らせる繋がりがある地域を目指します
	土井首	集合型地域ケア推進会議、土井首コミュニティ協議会と連携した活動
	深堀・香焼	Withコロナでの地域の見守り体制の強化 ～「地域での見守りや声掛けの周知」と「ネットワークの構築」を目指して～
権利擁護事業の推進	淵	記念日に合わせた意思決定支援啓発活動
	岩屋	権利擁護を学んでその人らしい生活へ！
	三重・外海	最後まで住み慣れた地域で暮らせるように、色々な場面で「看取り」について考えました
	戸町・小ヶ倉	地域との連携や地区活動への参加を強化しました！

### R4年度の新たな取り組み(一部を紹介)

【生活支援コーディネーターや多機関型地域包括支援センターとの協働による通いの場の支援】

- 1 平坦地で集まりやすい地域のふれあいセンターで集いの場の立ち上げを検討している地域に、生活支援コーディネーターと協働して支援を行い、高齢者ふれあいサロンを立ち上げることができました。
- 2 生活支援コーディネーター、多機関型地域包括支援センターや地域のお寺と協働して多世代サロン(子供からお年寄りまで集まる場)を立ち上げることができました。

【認知症カフェの中から始まった取り組み】

- 1 認知症の介護者の交流会・生活への不安や介護の悩み、介護する中で感じた喜びなど、介護者同士であるからこそ共有できることを話せるよう支援をしています。
- 2 認知症当事者同士の交流の場づくり: 当事者の声をもとに、他地区の認知症カフェに出向き、演奏を通じて、交流を図る取り組みを行いました。



## 総合相談

総合相談延件数

R2	R3	R4
69,219	62,489	67,995

## 通所型サービス

	R2	R3	R4
短期集中型通所サービス決定者(年間)	302	287	232
通所相当(3月利用者)	2,700	2,631	2,669
ミニデイサービス(3月利用者)	367	374	376

## 住民主体の通いの場づくり・支援

市高齢者ふれあいサロン(59カ所・R4年度末)

	R2	R3	R4
高齢者ふれあいサロンサポーター養成者数	64	20	73
延べ養成者数	1,405	1,425	1,498
活動者数	373	600	559
立ち上げ数	1	1	2

- ・通いの場の後方支援として、高齢者ふれあいサロンサポーター交流会を再開する包括が増加しました。
- ・単身高齢者が増加しているマンションにおいて、サロンの立ち上げ支援を行いました。
- ・令和4年度中に7か所の社協サロンと、13か所の自主グループが開設しました。
- ・担い手不足から、通いの場の継続が課題となっているグループへ、サポーターの追加養成や運営に関する助言などを行いました。

介護予防の推進

## 地域ケア会議

地域ケア会議  
(地域包括ケアシステム)

	R2	R3	R4
推進会議	24回	36回	58回
個別会議	90回	142件	139回
(再)自立支援型地域ケア個別会議	80回	132件	121回
			208件
			132回
			197件
			115回
			180件

<地域ケア推進会議での地域課題と取組内容(一部)>

### ●地域課題に対する取り組み

- ・若年性認知症の方の声や支援者の気づき  
→当事者会の立ち上げに向けた検討と支援
- ・地域の社会資源の情報が浸透していない  
→顔写真の掲載やQRコードを活用する等、見やすさを工夫した地域資源マップ作成
- ・高齢者のフレイル、住民同士の繋がりの希薄化  
→高齢者が参加しやすいよう、在宅支援リハビリセンターと協働し、地区巡回型の介護予防教室の開催や住民組織単位でのフレイル予防の取り組み
- ・人生の最終段階を考えるきっかけづくりが必要  
→地域住民向け「自筆証書遺言」「元気なうちから手帳」のワークショップ開催

### ●地域課題についての検討

- ・交通事故が多発しているが、車がないと買い物や通院に支障をきたす地域での免許返納後の課題を考える。
- ・自立支援型地域ケア個別会議の事例に共通する地域課題を抽出する。

## 認知症カフェ

(カ所)

R2	R3	R4
24	26	27

- ・新たに1包括(三重・外海包括)が新規開設しました。
- ・認知症カフェをきっかけに、当事者の交流会等の様々な取り組みが始まりました。

## 認知症サポートリーダー養成講座

認知症カフェや家族会の支援や、認知症サポート養成講座など、地域で活動されています。

	R2	R3	R4
養成者数	15	6	8
実活動者数	137	120	132

## 認知症スクリーニング検査

- ・高齢者サロンや自主グループに出向き実施しました。
- ・軽度認知症障害(MCI)を早期に発見することで、出来るだけ早期に適切な治療やサービスにつなぐ等の支援を実施しました。

	R2	R3	R4
受診者数	287	419	397
物忘れの傾向あり	106	125	120

## 認知症初期集中支援チーム

包括に寄せられる相談をきっかけに専門チームが介入し、必要な医療や介護サービスにつながりました。

認知症対策の充実

	R2	R3	R4
訪問実人数	67	74	61
チーム員会議	36	36	36

権利擁護の推進

## 虐待防止

	R2	R3	R4(暫定)
延相談件数	1,240	1,364	1,750
虐待事例	96	116	126
分離(別居)した事例	31	31	47

- ・コロナ禍で緊急保護の調整に苦慮する事例や、ヤングケアラー等の多問題を抱える事例など、複数の関係機関との連携を要する事例がありました。
- ・課題解決のため、助言者を招いた事例検討会を3回行い、対応力向上に努めました。

## 家族介護教室

R2	R3	R4
35	35	42

認知症の人と家族の会の方をお招きしての講話等の認知症に特化した介護教室や、男性が対象の介護教室など、対象者を限定した教室を含め、介護者同士の交流による介護負担の軽減に向けた取り組みを行いました。

## 成年後見制度

	R2	R3	R4
延相談件数	999	946	732
実相談件数	173	155	196
申立支援数	46	37	34

- ・相談内容として、認知症により金銭管理の支援が必要な方に関する相談が最も多くなっています。
- ・申立てを必要とする高齢者に対し、専門職との連携や、本人や親族の書類作成を手伝うなど、申立てを支援しました。